

つ スポーツ推進  
委員会通信



ふれ愛

第13号  
平成27年  
5月発行

発行  
津市スポーツ推進委員会  
広報部会

## 第62回 東海四県スポーツ推進委員研究大会 愛知大会

日時：平成27年1月30(金)～31日(土)

場所：全体会：BOAT RACE蒲郡

第1～第3分科会：蒲郡市民会館 大ホール

第4分科会：竹島ベイパーク周辺道路

東海四県のスポーツ推進委員の参加を求め、「地域における生涯スポーツの実践活動について研究・協議し、スポーツ推進委員としての資質の向上を図る」また、研究大会の参加者が相互に「意見交換」を行う目的で、第62回東海四県スポーツ推進委員研究大会(愛知大会)が開催されました。

今大会は、「連携・協働による地域スポーツの推進」～深い絆で結ばれた一体感や活力ある地域をスポーツで作ろう～をテーマに1月30日(全体会)、1月31日(分科会)の2日間の大会に津市スポーツ推進委員45名が参加し熱心に研究協議を行いました。1日目の全体会の表彰式においては、永年地域におけるスポーツ推進委員として生涯スポーツの普及・振興の功労が認められ、平成26年度東海四県、中ブロックスポーツ推進委員功労者表彰で2名の津市スポーツ推進委員が受賞されました。今後のますますのご活躍を期待いたします。

表彰式後は、和太鼓集団志多らの演奏が紹介され、その演奏とアクションの迫力に参加者全員聞き惚れていました。その後は、本大会の1日目のメインである出羽海部屋所属の元大相撲力士、有限会社 舞の海カンパニー所属のスポーツキャスター、タレント、NHK大相撲解説者、舞の海秀平氏のトークショーが催されました。トークショーでは、氏の小さい頃から中学～高校～大学時代～大相撲への入門時のエピソードなど、一部と二部の構成で、入門検査時に身長が低いと一度不合格となり手術でシリコンを頭に埋め身長を高くして合格を掴んだ。また現役時代には100kgに満たない小柄な体格を活かし、多彩な技で大型力士を倒すその取り口から「技のデパート」「平成の牛若丸」という異名を得て人気力士となり「猫騙し」、「三所攻め」、「八艘跳び」、「くるくる舞の海」等四十八手を駆使した取り口を見せ役力士まで昇進し活躍をしましたが、怪我により1999年現役を引退し、その後はNHK大相撲中継の専属キャスター、スポーツコメンテーターとして活躍されている様子を東海ラジオ専属のアナウンサーと楽しいトークショーが繰り広げられました。終了後は氏に対しての質疑応答もあり、従来の講演とは趣が違った「生の現場」の面白いトーク＆楽しいトークがあり、もっといろいろ聞きたいぐらいの有意義なトークショーでした。2日目は4つの分科会に分かれ、愛知県の市区町村の研究発表&実技研修が実施され、津市スポーツ推進委員は第1分科会と第3分科会の研究発表会に参加しました。第1分科会では①「子どもたちとスポーツを通じた交流」～スポーツ推進委員の役割～②「地域とともにつくる元気あふれる健康都市」～0から1を目指すスポーツ環境づくり～第3分科会では「働き盛り・子育て世代に対するスポーツのきっかけづくり」～お母さん！楽しくスポーツやろまい～のテーマで発表があり、その質疑応答も活発にあり時間が不足するぐらいの熱心な研修の場でありました。

スポーツ推進委員の活動状況も年々変化しており、スポーツ推進委員が自主的にPDCAの管理のサイクルを回し、地域のめまぐるしく変わる社会状況を熟慮しての活動に取り組んでいる研究発表であり、津市スポーツ推進委員もこの変化に対応しているかどうか真剣に考える必要があるのではないかと痛感しました。

## —第62回東海四県スポーツ推進委員研究大会 愛知大会—

第一分科会に参加して

津ブロック 荒川 芳 樹

第一分科会は愛知県天白区と尾張旭市より発表がありました。

天白区は、子どもたちとスポーツを通じた交流と題して地域ジュニアスポーツクラブが盛んな地域で、特にソフトボールクラブとドッチボールクラブに取り組んでいる学区が多く、推進委員が小学校、中学校、PTAと連携をとり企画・指導にあたり、「子どものスポーツ活動の充実を図り、学区民相互の連携を促進し、地域のコミュニティーの核として街づくりに貢献する」という共通理念で運営に携わっている。後の質疑応答の中で興味があったのが、スポーツのできる子どもに焦点をあてるのではなく、小学校にチラシを配布し、スポーツの不得意な子どもを募って、技術はさることながらチームワークの心構えや仲間と相手を思いやる心を養っていることに感銘を受けました。

尾張旭市は、「地域とともにつくる元気あふれる健康都市」と題しての発表があり、試行錯誤のうえ現在の①ニュースポーツ部会②地域活動部会③ウォーキング部会に分け、それぞれが企画運営にあっているとのこと。特にウォーキング部会の活動で感心したのが、市内を自ら歩き「スマイルウォーキング」「矢田川さんば道ウォーキング」「お出かけウォーキング」「家からウォーキング」「わくわくウォーキング」「軽々堂々ウォーキング」と名付けてコースマップを作成し、誰でも気軽に道に迷わず危険な箇所も回避できるように配慮されていました。また市内の名所史跡も地図に載っていることから、歴史も再認識しながら気軽に自主ウォーキングを楽しめるようになった。と発表されていました。

スポーツ推進委員がそれぞれ横の連携をとり、一つの方向に向け活動を継続して、スポーツを通して仲間を守り、人を思いやる大切さを培っていけるような活動を行っていきたいと思います。

## —第62回東海四県スポーツ推進委員研究大会 愛知大会—

第三分科会に参加して

一志ブロック 結 城 光 美

今回初めて、この東海四県スポーツ推進委員研究大会に参加し、楽しい時間を過ごさせて頂きました。第三分科会では、高浜市の「働き盛り・子育て世代に対するスポーツのきっかけづくり」と題して、若い世代のアンケートを元に参加しやすいスポーツイベントを企画し、多くの方が参加しやすく美容にもいいバランスボール教室、家族で楽しめるファミリーウォークを企画しスポーツ推進委員全員がその内容を把握し、月一回の全員参加の会議を設けて意見を交わし、進めていったそうです。バランスボール教室では、平日の昼間開催のため、有給休暇を取って参加された方や設けられた託児所に子どもを預けるなどして、定員を超える参加者があったそうです。質疑応答においては、藤枝市の方より「ただ良かっただけでなく、どう役立ったかまで調査して欲しかった。」と突っ込んだ意見がでて、他県のスポーツ推進委員の熱心さに感心してしまいました。発表の後は、女性部会指導のみんなのできる楽しいレクリエーションを実施して身体を動かしました。とても内容の濃い第三分科会で、こういう活動がスポーツ推進活動の基本なんだと改めて気づかされました。



## 新任推進委員

### 一年を振り返って

#### 津ブロック

高野尾地区

赤塚 智久

今年度よりスポーツ推進委員として活動させていただいて、推進委員の皆さんがとても熱心な事に驚いています。細かいルール、審判の仕方など実技をしながら教えていただいています。皆さんとてもスポーツ好きなんだと感じとれます。私の高野尾地区でも、6月に3回ファミリーバドミントンを地域の方々としています。子どもから高齢者の方々まで参加しています。地域の方々とふれあい、そこで審判の練習をさせていただいています。

スポーツの楽しさ、参加する楽しさを知ってもらえるように精一杯努めたいと思います。

#### 安芸ブロック

安濃地区

野田 ゆかり

平成26年4月17日に前業市長より委嘱状をいただきました。初任者研修会が始まり、難しいお話ばかりで本当に自分がやっていけるのかと不安と期待でいっぱいでした。

グラウンド・ゴルフ大会、シティーマラソン等のお手伝いや、研修会では初挑戦のファミリーバドミントン大会に参加したりと、悪戦苦闘でしたが皆さんが親切・丁寧に教えてくださり安心して参加することができました。また身体を動かすスポーツだけでなく、今後の活動に参考となるお話をたくさんお聞きする事ができました。色々なスポーツにチャレンジして覚えたいと思っていましたが休みが会わず、意気込みだけの不完全燃焼の一年があつという間に過ぎてしまいました。スポーツや人の交流で学んだ事が少しでも身についたかなと自負している私です。経験したこと、学んだことを残り一年活かしたいと思います。

皆さん、ご指導よろしく申し上げます。

#### 久居ブロック

榊原地区

福岡 且浩

今年度に初めて委嘱を受けて、「スポーツ推進委員とは？」から始まりました。いったい何をするのかと思い研修会も参加しましたが、いま一つわかりませんでした。そこで、すべて無理でもブロック行事にはできるだけ出席するようにと思いました。いざ、行事が始まり、これは大変なことだとわかりました。以前何度か交歓会に選手として参加しておりましたが、推進委員として初めてで、準備から片付け、審判などの大変さをその時は全く気づく事ができませんでした。

また、マラソン大会では、初回大会より昨年まではコースの観察係で、大会当日に配置する担当でした。しかし、今年は大会前から準備、準備、又準備、終われば撤収・・・と「これは体力もいるぞ!」と実感しました。

そして、後半のグラウンド・ゴルフ大会ではコツまでおしえていただきましたし、今回は何より皆さんと一緒に楽しく競技する事ができました。推進委員でなければこのような機会はなかったと思います。ただ結果的には勝手がわからず、先輩方のお手伝いでしかありませんでした。今後も教わりながらお手伝いに徹しようと思います。行事に関して、準備から安全面も考慮して円滑に進行させる事は、一見は簡単そうですが大変難しいと感じました。まだ一年ですが、準備係だけでない「スポーツ推進委員とは」が少しわかりかけてきたような気がします。

#### 一志ブロック

白山・八つ山地区

上川 紗希

スポーツ推進委員として活動に参加することで、先輩委員の皆さんからいろいろなことを学ばせていただいています。

社会人になってから仕事が忙しく、体を動かす事が少なくなっていました。活動に参加したことで、体を動かす楽しさをあらためて実感することができました。また、スポーツ推進委員として活動に参加させていただいた事がきっかけで、ジョギングという新たな趣味ができました。まだまだわからないことが多く、推進委員として務まるだろうかという不安もありますが、一生懸命がんばりますので、よろしく申し上げます。

## ブロックだより

### 津ブロック

#### ◆ 市民ファミリーバドミントン大会 ◆

平成27年3月1日(日)津市体育館において、津ブロック主催のファミリーバドミントン大会が行われました。今年で3回目になる大会に津ブロック以外のスポーツ推進委員もチームを編成して参加していただき、36チーム・150人程のスポーツ好きの人達に、体育館に8面の専用コート进行け楽しんでいただきました。

午後からの決勝トーナメント戦でも接戦の試合が多数あり、応援にも熱が入りますし、審判もミスが無いよう上手に試合をコントロールしていたように思います。特に今回は、1試合あたりの所要時間も短縮され、毎月の研修でまじめに努力してきた各委員の力量が発揮できた大会になったように思います。今大会の優勝チームは家族3人の正に「ファミリーチーム」でしたし、準優勝チームは女子3人の「お友達チーム」でした。又、敢闘賞には昨年も参加の、ファミリーバドミントンの基本をしっかりと教えてくれた鈴鹿市から参加の「お手本チーム」でした。これからも大会を継続し、津市民誰もが「ファミリーバドミントン知ってるよ」と認知されるまで沢山人達に広め、地域の健康増進に少しでも寄与できたらと思います。

#### ★今大会の成績★

優勝	櫛形地区	チームR・U
準優勝	安東地区	安東Cチーム
3位	櫛形地区	WIN・K MASAチーム
敢闘賞	鈴鹿/井田川	グーフーズチーム



### 安芸ブロック

#### ◆ 河芸地区 ソフトバレーボール大会 ◆

平成27年3月15日に津市かわげ体育館でソフトバレーボール大会が開催されました。例年ならまだ寒さが残る時期ですが今年は暖かく、準備運動だけでも汗が出てくる陽気でした。総勢130名(33チーム)に参加いただき、久居や旧津市から初参加いただくチームもありました。混合17チーム、女子16チームでコート別に順位をつける方式としました。

丁度1カ月前にかわげ体育館でインディアカ大会を開催したときは49名(10チーム)だったので競技人口の違いを痛感します。

我々、運営側としては、開催の広報活動に尽力してきましたので多くの参加は非常にうれしく思います。

これからも生涯スポーツとして楽しんでいただけるニュースポーツ大会を企画運営していきますのでスポーツ推進委員のみなさんも是非参加して下さいね。



## 久居ブロック

### ◆ 久居ブロック 体育振興会 交歓会 ◆

久居ブロックの事業として、平成26年8月3日(日)体育振興会交歓事業では久居総合体育館でグラウンド・ゴルフ、ユニカール、ソフトバレーの3種目で行われ、参加者230名により地元のつながりを深めました。

また平成26年11月16日(日)の第17回ひさい榊原温泉マラソンへの協力事業として、全員参加による交通規制看板の設置やコース清掃を行いました。マラソンは約1800名の参加にて大会の成功に寄与できました。

平成26年11月23日(日)には、久居地区グラウンド・ゴルフ大会の開催を実施し、参加者とスタッフ合わせて202名で行いました。8名24組で12ホール2ラウンドで地元野球場を使用し開催しました。当日はホールインワンも50本飛び出し、40m級のロングホールでも1打でカップインする方もみえ、驚きました。これらの事業は久居ブロックの3大事業となっており、多くの市民とのスポーツを通じた関わりであり、今後、スポーツの発展や活性化のための一歩として進めてまいります。

事業の反省点は次回の改善点として、1年、1年推進委員の成長の糧になっております。



## 一志ブロック

### ◆ 歩こう会 ～秋の美杉 自然&歴史を訪ねて ◆

昨年11月16日(日)、津市スポーツ推進委員会一志ブロック主催の「歩こう会」を美杉地域において開催しました。一志ブロックでは恒例のブロック事業として年一回「歩こう会」を催しています。一志ブロックは香良洲、一志、白山、美杉、の4地区からなり、2年毎に一地区が幹事地区として事業の企画と運営を中心となっておこなっています。今年度と来年度の2年間は白山地区が担当となっています。今年度は、美杉の多気地区で、紅葉に包まれた自然を楽しみながら、伊勢国司北畠氏の史跡と伊勢本街道の町並みを巡るというコースを企画しました。又、一昨年美杉地域を中心に撮影され、昨年公開された映画「WOOD JOB!～神去なあな日常～」のロケ地も立ち寄りコースとしました。

当日は天候にも恵まれ、紅葉も真っ盛りで大変気持ちの良いウォーキングとなりました。また当日は津市教育委員会生涯学習課の学芸員の方から随時、歴史の案内を受けながらの行程となったので、その面でも参加者の皆さんには楽しんでいただけたと思います。参加者数は予定より少なく、スポーツ推進委員を含めて40名程度でした。この時期、美杉地域では毎週末、同じようなイベントが開催されていたからなのか？内容、広報活動に問題があったのか？今後の検証課題だと思えます。



平成26年度 三重県スポーツ推進委員研修会 兼  
第55回 三重県スポーツ推進委員研究大会

とき：平成26年12月13日(土) ところ：紀宝町生涯学習センター「まなびの郷」

県内のスポーツ推進委員が、一堂に会し「スポーツ推進委員の資質向上及び委員相互の親睦を図る」ことを目的に、地域における生涯スポーツの普及・振興について研修を行う『三重県スポーツ推進委員研究大会』が今回は、紀宝町で開催されました。

津市からは37名のスポーツ推進委員が2月13日(土)早朝より津市を出発し、当日10:30より講演研修・実技研修に参加し研究討議を行いました。

開会式・表彰式では永年の地域におけるスポーツ推進委員として、生涯スポーツの普及・振興の功労が認められ「スポーツ推進委員功労者表彰」を5名の津市スポーツ推進委員が受賞されました。今後のますますのご活躍を期待いたします。

研究大会の講演研修では、『メンタルトレーニングの基礎知識』のテーマでメンタルスポーツトレーナー：久保勝裕氏の講演を受講しました。

スポーツ推進委員として、「競技スポーツ」「楽しみ型スポーツ」など生涯スポーツ等スポーツ全般の普及・振興に取り組んでいるなかで、それぞれのスポーツにおいて、もっと早く！もっと高く！もっと上手く！になりたい等の欲求が誰もが持っています。スポーツで上達や結果を残すにはメンタル(心)の部分が大切であると、次のメンタルトレーニングの内容を講演されました。

- ①メンタルトレーニングの種類
- ②セルフトークとは
- ③リラクゼーションについて
- ④集中力について(☆集中している状態とは、集中力を高める方法)
- ⑤プレッシャーとは(☆頭の考え方：頭の中で作り出す、考え方、思考)
- ⑥緊張とは(☆体の反応：手に汗。体が硬い、鼓動が早くなる、頭が真っ白になる)

最近、競技スポーツにおいても結果・記録を残すには、技術・体力だけでなく心(メンタル)も大きな要素となっていると強調されていました。私たちスポーツ推進委員としてもスポーツの普及・振興に際して実技指導とともにメンタル面の指導もこれからは重要視されるのでは……。また、午後の実技研修では参加者2班に分かれて「まなびの郷」を発・着で紀宝町の名所・史跡のウォーキング(片道4~5km)にて身体を動かして有意義な研究大会は終了しました。



## 第55回 全国スポーツ推進委員研究協議会 岩手大会

### 『スポーツで生み出す絆と和』

津市スポーツ推進委員 副理事長 田坂 稔

平成26年9月25日(木)・26日(金)岩手県盛岡市アイスアリーナにおいて第55回全国大会が「スポーツで生み出す絆と和」をテーマに開催されました。

スポーツ推進委員の果たすべき役割と今後の方向性について、シンポジウム及び分科会に三重県代表として参加させていただきました。1日目の開会式後に全国功労者表彰式が行われ30年勤続表彰を齊藤会長から授与され身の引き締まる思いでした。



講演会は、演題『今を生きる』狩野 亮 氏 アルペンスキー(チェアスキー) 2014年ソチパラリンピック大回転金メダリストの新たなチャレンジャーとして極限に挑むことと「自分を過信することなく日々の生活でも積極的に努力を積み重ねることは、自分を成長させてくれる。」と話され大回転のスキーの滑降映像を視聴しました。シンポジウムでは、「スポーツの力」で結ばれる活力ある地域づくりの推進事例を各シンポジストから、創造していく「スポーツの力」、スポーツビジネスと地域コミュニケーション力、障がい者の視点とスポーツツーリズム、スポーツの多様化と老いることは障害をもって往く道だ、若者を先ず考えた交流の場のあり方等について取り組みを提起された。2日目の第3分科会は、岩手県公会堂ホールで「地域でつくる障がい者と健常者がともに楽しむスポーツ活動」、障がい者のスポーツ参加とスポーツ推進委員の役割について熱心な協議を行った。東京都の障がい者総合スポーツセンターの井田智之さんは、アダプトテッドスポーツ教室(障がい者と一緒に楽しめるスポーツ活動)、埼玉県白岡市のスポーツ推進委員の齊藤信治さん、宮城県芝田町社会福祉協議会主任の稲荷智康さんは障がいのあるなしに関わらず自発的にスポーツを楽しむ環境づくりに向けて、行政をはじめ関係機関が地域と連携を密にした地域ボランティア活動の取り組みを提起された。私たちの現状については、社会福祉協議会、レクリエーション協会などでの生涯スポーツ交流会、福祉・健康まつり、車椅子体験会スポーツイベントや諸々の啓発活動推進に取り組んできている。それに関わる者として「永く続けるためには、何を大切にするか!」をこの大会で考えさせられ、参加者の保護者(介助員)が楽しめる活動を焦らずにじっくりとゆっくり、ていねいに取り組みながら普及拡大に努めること! であると気づかされた。

今後もスポーツ推進委員の一人として、ともにやる・みる・ささえる・つくるスポーツの大きな山にみなさまとともに、地域に根ざした活動の実現に取り組んでいきたいと考えます。

最後に、第55回全国スポーツ推進委員研究協議会岩手大会に三重県津市スポーツ推進委員としての機会をいただきましたことに、心から感謝申し上げます。

ありがとうございました。

## 平成26年度 津市民スポ・レク祭 グラウンド・ゴルフ大会の結果と反省

事業・調整部会  
伊藤昌行

11月30日(日)に開催の今大会は、昨年同様津球場公園内野球場にて行われました。7月中旬に18名による実行委員会を立ち上げ、準備を始めました。今回は、津市全域からの参加申込が定員200名に対し、245名にもなりましたが全員出場して頂くことで「出場OK」の返事を郵送しました。結果的に当日の参加者は、種々の事情により223名となり、その平均年齢は75.3歳(年齢層は65~90歳9カ月まで、お達者ですね!)



今大会で工夫した事項を項目別に分けてみますと

1. 組分け方法(参加者を32チーム、ABブロック各16チームとする)
  - 1)各組リーダーには津グラウンド・ゴルフ(以下G・Gと表記)協会の役員さん10名、各地域・団体のG・G百戦練磨でリーダー格の人(22名)をお願いをしました。
  - 2)各組男女を略均等に作る。
  - 3)各組に同一小学校区の人を2~3名入れ、必ず知り合いがいるように配慮しました。(今回市内の34小学校区より参加がありました)
  - 4)各組にスコアの記入ができる人を約半数(3~4人)は入れる。  
○組分けは色々なケースがあり、欠席辞退を含め6回も変更作業となり大変でした。
2. 大会を迅速に進めるため、各組代表に次の項目について協力を要請しました。
  - 1)打数の累計確認チェックを、終了後ではなく、ゲームの合間にするよう依頼。
  - 2)マナー、エチケットの遵守依頼。  
○結果的に達成率は60~70%位で今一の状況でした。
3. スポーツ推進委員の協力(当日59名の方にお世話になりました)
  - 1)全コースの誘導(次のホールへの移動がスムーズにできたと好評でした)
  - 2)スコア表の打数内訳計算と個票への転記(本来参加者の任務を代替え)
  - 初めてG・Gに携る委員さんも多く協力して頂き、ご苦労様でした。

### 【総評】

一言でいえば、マナー、エチケットが悪いプレーヤーが多くみられた。

- 1)ボールを打った後、すぐに打球を追わない。その為、次打者は早く打てなくなる。
- 2)プレーの妨げになるボールを、マーカーを正しく置いてボールを取り除かない。
- 3)一時的にボールを取り除く場合、要求される前にするのがエチケット。
- 4)「ボールはあるがままの状態プレーする」が徹底されない。

○日本のG・G協会の規約があるも、曖昧な部分もあり解釈が統一されていない。

○津市では40近くの団体が、ローカルルールを定め楽しんでいるケースが多い。

○津G・G協会の役員さんにお骨折りを願って、日本G・G協会へルールの改訂又は判りやすく、統一した津市のルールを設定し、施行願いたいものです。

○200名を越す、しかも高齢者を主体にした大会を、午前中に終了には少し無理があった。

昼食をはさんでゆっくと交流を深める大会にすればと考えます。

### ☆当日の成績☆

優勝	村田 治美	(安濃：明合)	第6位	奥田クニコ	(津：南が丘)
準優勝	三浦 綾子	(津：新町)	第7位	藤堂 高幸	(河芸：千里ヶ丘)
第3位	白井恵美子	(久居：榊原)	第8位	吉川 秀生	(安濃：明合)
第4位	武川 守	(津：片田)	第9位	倉田 光	(安濃：村主)
第5位	米倉 徹	(津：片田)	第10位	妙願富士子	(津：豊ヶ丘)

# 津シティマラソン

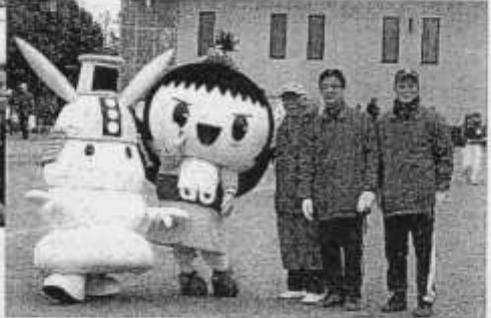
memorial  
album



シティマラソン実行委員会・津市・津市教育委員会  
 法人津市スポーツ協会・津市スポーツ推進委員会・津市スポーツ少年団本部・津市消防職員協会



市長のスピーチにも熱が入ります。  
 今年は控えめにジョギング2kmにチャレンジ!! 20150222



少しは暖かいかなと思ひ、紀宝まで来てみたが...

20141213



全員満面の笑顔。1日目終了!あとは次なる研修会場へ!? まさか競艇場が会場とは! ちょっとサプライズ! 20150130・31



## ☆受賞おめでとうございます☆

第55回全国スポーツ推進委員研究協議会、第62回東海四県スポーツ推進委員研究大会、第55回三重県スポーツ推進委員研究大会の席上にて、津市スポーツ推進委員として活躍されている下記の方々が、永年のスポーツ推進委員として、住民のスポーツの実技指導・助言などにより生涯スポーツの普及・振興に貢献されている功績が認められ受賞されました。

おめでとうございます！今後のますますのご活躍をお祈りいたします。

### 【全国スポーツ推進委員連合感謝状贈呈】

☆30年勤続スポーツ推進委員感謝状☆ 田坂 稔さん（安芸ブロック）

### 【東海四県スポーツ推進委員功労者表彰】

☆平成26年度 東海四県スポーツ推進委員功労者表彰☆  
千田 勝さん（久居ブロック）

### 【中ブロックスポーツ推進委員功労者表彰】

☆平成26年度 中ブロックスポーツ推進委員功労者表彰☆  
小林 小代子さん（安芸ブロック）

### 【三重県表彰】

☆平成26年度 スポーツ推進委員功労者表彰☆

三 岳 千津子 さん（津ブロック）	岸 野 仁 彦 さん（津ブロック）
坂 井 孝 二 さん（津ブロック）	浅 原 直 美 さん（津ブロック）
大 市 哲 さん（一志ブロック）	

## ～お別れの言葉～

津市スポーツ推進委員会副会長（津ブロック長） 林 裕 行

松坂会長の在りし日のお姿をしのび、謹んでお別れの言葉を申し上げます。  
ご生前は、ひとかたならぬお世話をいただき本当にありがとうございました。年末に病院の方にお見舞いにお伺いした時は、真様が誠心誠意のご看護をされてみえるなか、お話をさせていただくことができましたので、なおさら残念で仕方ありません。入院をされてから何度かお見舞いにお伺いしましたが、会議の資料がベッドの傍に置かれており、津市スポーツ推進委員会のことを大変気にしておられましたので、心配せず治療に専念していただくようお願いして帰ったことを思い出します。昨年、三重県地域スポーツ推進表彰を会長の代理でいただき表彰状を持ってお見舞いにお伺いした時に、「林さん、すまん・ありがとう」と言われた言葉が、今も耳底に残っております。会長のご恩に報いるためにも、私たちは一致団結して津市スポーツ推進委員会の今後の発展に努力することをお約束したいと思っております。津市スポーツ推進委員全員、心からご冥福をお祈り申し上げ、お別れの言葉とさせていただきます。どうぞ安らかに眠り下さい。

### ●津市スポーツ推進委員会 事務局●

TEL:059-229-3254

〒514-0056 津市北河路町19-1 メッセウイング・みえ 2階

FAX:059-229-3247

### ★津市スポーツ推進委員会ホームページ★

<http://tsu-sposui.com/>



### 公益社団法人全国スポーツ推進委員連合

<http://www.zentaishi.com/>